不二越上滝線に係る再構築国庫補助事業費及び費用負担について

資料1

1　鉄道施設の機能向上【国庫補助対象割合(国1/2)】

○鉄道施設総合安全対策事業(同種交換事業:国1/3)については、乗り心地改善、維持管理費の減少につながる機能向上を図るため、国庫補助率の高い再構築対象事業(鉄道施設の機能向上:国1/2)に振り替える。

○再構築対象事業には、レールや枕木などの機能向上に加え、全線で対応が必要な整備として、富山地方鉄道株式会社から提案があったクレジットカードによる乗車サービス(タッチ決済)を含む、次の事業の不二越上滝線負担分を計上する。

❶ 中古車両導入、変電所・変成機器の更新、保守用車両の更新　21.8億円
（うち不二越上滝線分3.8億円）

❷ タッチ決済の導入　7.0億円(うち不二越上滝線分1.2億円)

○県と沿線市町村(富山市・立山町)の負担割合は、「鉄道施設の維持管理費」と同様に**1:1**とする。

必要な金額　1年あたり0.98億円 (R9から10年間で9.8億円)	調達方法(R9から10年間)		
再構築対象事業(国1/2)	国 1/2 0.49億円 (4.9億円)	県 1/4 0.24億円 (2.4億円)	市町村 1/4 0.24億円 (2.4億円)

2　鉄道施設の利便向上【国庫補助対象割合(国1/2)】

○利用者を増やす取組みとして、新型車両の導入、南富山駅の乗換環境改善・駅舎改修、新駅の設置、行違い施設の整備による増便、既存駅の改修やパーク＆ライド駐車場の整備などの鉄道施設の利便向上(再構築対象事業)を実施する。

○市町村負担分は、**該当市町村(その事業に関係する沿線市町村)**が負担するものとする。

・駅・新駅・行違い施設など場所が特定される事業 … 所在する市町村(富山市)

・新型車両の導入など路線全体に関わる事業 … 沿線市町村(富山市・立山町)で按分

○県と該当市町村の負担割合は、「鉄道施設の維持管理費」と同様に**1:1**とする。

必要な金額　1年あたり14.46億円 (R9から10年間で144.6億円)	調達方法(R9から10年間)		
再構築対象事業(国1/2)	国 1/2 7.23億円 (72.3億円)	県 1/4 3.62億円 (36.2億円)	該当市町村 1/4 3.62億円 (36.2億円)

■ 主な整備内容・対象駅・事業費

類型	整備内容	対象駅	事業費
新型車両	新型車両の導入(2両×6編成)	全線	53.0億円
駅施設等	ホームの改修	大泉、上堀、開発、大庄	13.6億円
	上屋の設置	大泉、上堀、布市、開発、月岡、大庄、上滝	
	バリアフリー化	大泉、上堀、布市、開発、上滝	
	構内踏切の整備	上堀、月岡	
	ホームの増設	上堀	
	交通広場の整備	上堀、上滝、大川寺	
	P&R駐車場の整備	大川寺	
	駐輪場の整備	栄町、布市、大川寺	
	トイレの整備	上堀、月岡	

類型	整備内容	対象駅	事業費
新駅設置	新駅の設置 (ホーム・上屋・駐輪場 等)	3箇所(1箇所は駅移設を含む)	6.9億円
南富山駅	駅舎の改修、乗換施設の整備	南富山	28.1億円
増便整備	行違い施設の整備	3箇所	42.9億円
	新型車両に対応した踏切保安設備の改良	全線	
計(R9～R18の10年間)			144.6億円

注)端数処理のため、合計が一致しない。